



日高町合併10周年記念日高町イメージソング

大地に抱かれて～日高讃歌～

作詞・作曲 加藤登紀子

遙か草原 その真ん中で
今を生きてる 大地に抱かれて
遠い祖先の 踏みしめた道
去年生まれた 子馬と駆ける
ここに生きてる 命すべてと
ここに集う 全ての友と

蒼空に立つ 日高山脈
萌える雲海 息吹き渦巻く
滔々と流れ 歌う沙流川
その水音に 明日を夢見る
愛する人を 胸に抱きしめ
長い人生 共に生きたい

海から届く 波の轟き
凍る大地に 耐えた父母
冬の嵐に 身を寄せ合って
春の訪れ 喜びあった
祈りにこめた 熱い思いに
答えているか 今の僕らは

答えているか 今の僕らは



10月21日、門別総合町民センターにて日高町合併10周年を記念し、「加藤登紀子コンサート 大地に抱かれて～日高讃歌～」が開催されました。

会場には関係者を含め630名の来場者が訪れ、1部、2部に分かれ公演時間2時間余りの中で全20曲が披露されました。

コンサートでは映画のエンディングテーマに起用された「時には昔の話を」、1969年に日本レコード大賞を受賞した「ひとり寝の子守歌」、1987年に大ヒットを記録した「百万本のバラ」など、往年の名曲の数々が披露されました。

また、1部の最後には合併10周年を記念し作詞、作曲していただいた日高町イメージソング「大地に抱かれて～日高讃歌～」を富川高校吹奏楽部14名によるコーラスとともに披露され、日高町の歴史や風景を感じさせる曲に、来場者から大きな拍手があがりました。